

すくすくももごっこ

保護者の皆様の様々な子育ての悩みについて、次のような相談の窓口をご紹介します。

●学校生活の相談

- ・学校に行きたがらない。
- ・落ち着きがない。
- ・友達と遊べない。
- ・いじめる、いじめられる。
- ・内気、引っ込み思案。など

●発達・進路の相談

- ・発育・発達の遅れが心配。
- ・社会性がない。
- ・コミュニケーションが苦手。
- ・ことばの発達が遅い。
- ・進路・就学の相談。など

●家庭での育て方の相談

- ・しつけが難しい。
- ・気になる癖がある。
- ・お金や物をとる。
- ・反抗、乱暴。 など

ご相談の窓口はこちらです。

☆済美教育センター来所相談

03-5378-0961

相談の申し込みを、電話で受け付けています。

☆特別支援教育課就学相談係（就学相談）

03-5929-9481

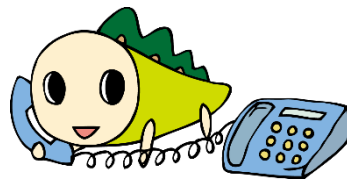
特別支援教室や検査等に関する相談は、こちらです。

☆スクールカウンセラー 森 祐子

桃五小では、お子様の学校生活における様々な悩みについて、スクールカウンセラーが専門的な立場からアドバイスをしています。

【桃五小教育相談室直通電話】03-3390-3195

カウンセラーが不在の際は、留守電に学年、組、お名前、連絡先を録音してください。後程、カウンセラーから連絡させていただきます。



桃五の ICT 活用

桃五小で本格的にタブレットを活用し始めて約1年となります。導入の1年として、保護者の皆様には、様々なお願いや変更などのご協力、誠にありがとうございました。

さて、今、文部科学省が目指している「令和の日本型学校教育」では、ICTを活用して、児童一人一人に応じた指導を目指す「個別最適な学び」や、子供同士や多様な他者と協働しながら学ぶ「協働的な学び」を実現することが求められています。

それを実現するために、本校では、タブレットが筆箱のように「あたりまえ」の道具として使えるようになることを目標にしています。しかし、ただタブレットを使えばよいではありません。学年や児童の実態、授業の内容や展開に応じて「いつ」「だれが」「どのように」使えば、児童にとってより良いICTの活用なのかを模索しながら、教育活動に取り組んでいます。

主に使用しているのは、考えや写真の共有、プレゼンの作成などが可能な「ロイロノート」や、AIドリルである、「ドリルパーク」や「まなびポケット」などです。

【現在のICTの活用の例】

低学年	タブレットやアプリに慣れることから始まり、ロイロノートで町探検の写真を使ってスライドショーにまとめたりしています。
中学年	図工で作品を写真に撮り共有したり、国語では、ロイロノートでポスターを作成し共有したり、授業の学びをポートフォリオとしてまとめたりしています。
高学年	国語の教材について各自の考えを書き込み、お互いに比較したり共有したりしています。また、作文の下書きをロイロノートで作成し、お互いに推敲したものを基に清書しています。また、算数では、学習の定着の場面で、AIドリルで自分の苦手な内容に合わせて学習しています。

今後も桃五小では、「令和の日本型学校教育」のさらなる実現に向けて、ICTの有効な活用を目指して取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解ご配慮よろしくお願ひいたします。

